

- 4) 伊藤加代子: 口腔機能測定器「健口くん」によるオーラルディアドコキネシス測定. フードサイエンスセンター シリーズ講演会「食べる」を計る, 新潟, 2009年2月14日.
- 5) 伊藤加代子: 楽しい毎日, おいしい食事をサポートするために. 新潟県歯科技工士会・歯科衛生士会合同研修会, 新潟, 2009年1月18日.
- 6) 伊藤加代子: 要介護者のお口の健康のために. 下越地区口腔ケア研修会, 五泉, 2008年12月11日.
- 7) 伊藤加代子: 口腔機能訓練で健やかお口. 介護予防従事者研修会, 新潟, 長岡, 上越, 2008年12月9, 18, 24日.
- 8) 井上 誠: 嚥下機能に関わる舌運動の定量的評価. 口腔から QOL 向上を目指す連携研究シンポジウム, 徳島, 2008年11月25-7日.
- 9) 梶井友佳: 一生おいしく食べるために一虫歯の原因と歯科治療. 長岡市立養護学校学校保健委員会講演会, 長岡, 2008年11月18日.
- 10) 伊藤加代子: 豊かな毎日を過ごすために～性差を加味したアドバイス～. 福岡県地域保健関係職員等歯科保健研修会, 福岡, 2008年10月31日.
- 11) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションにとっての口腔機能の役割. 第29回 新潟労災病院 合同研修会, 上越, 2008年10月17日.
- 12) 福原孝子: おいしい食事を楽しむために. 新潟市歯科医師会 口腔ケア実地研修事業, 新潟, 2008年10月3日.
- 13) 伊藤加代子: おいしい食事を楽しむために. せきやおもと園研修会, 新潟, 2008年10月2, 10日.
- 14) 井上 誠: 摂食嚥下リハビリテーションにおける歯科の役割と可能性. 新潟県歯科医師会摂食嚥下研修会, 新潟, 2008年10月2日.
- 15) 伊藤加代子: 舌ブラシの研究. 黒埼の里研修会, 新潟, 2008年9月29日.
- 16) 井上 誠: 今日から始める摂食・嚥下リハビリテーション. 済生会新潟第2病院 NST 講演会, 新潟, 2008年9月19日.
- 17) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションと口腔ケア. 第1回 Regional Relationship Conference, 三条, 2008年8月6日.
- 18) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの実践と評価. 国立病院機構新潟病院勉強会, 柏崎, 2008年7月11日.
- 19) 井上 誠: 在宅診療・高齢者の心身の特性を踏まえた口腔機能の向上および管理. 「医療安全」及び「施設基準」に関わる研修会, 新潟, 2008年6月15日.
- 20) 井上 誠: 摂食・嚥下リハビリテーションの実践と評価. 西新潟病院摂食機能向上プロジェクト, 新潟, 2008年5月30日.
- 21) 伊藤加代子: 口腔乾燥について. 高齢者健康セミナー, 新潟, 2008年4月20日.

【その他】

- 1) 井上 誠: プロフェッショナル. 新潟放送, 2009年2月5日.
- 2) 井上 誠: いつまでもおいしく食べたい. オアシス 21, 61: 14-15 頁, 2009.
- 3) 井上 誠: 万物流転. 新潟大学歯学部同窓会誌 29: 3-5 頁, 2009.
- 4) 井上 誠: 地域をささえる (595). 厚生福祉 2008年10月24日, 時事通信社, 2008.
- 5) 伊藤加代子: 介護予防のための口腔機能の向上入門講座. 新潟大学歯学部公開講座, 新潟, 2008年7月15日.
- 6) 伊藤加代子: カウンセリング勉強会. Ns 勉強会, 新潟, 2008年7月9日, 11月13日, 2009年1月14日.
- 7) 井上 誠: 摂食・嚥下障害患者への臨床的アプローチと食品との関わり. FOOMA JAPAN (2008 国際食品工業展), 東京, 2008年5月27-30日.
- 8) 井上 誠: 漁師だけが知っていた! シラス驚異の美味料理. 日本放送協会 ためしてガッテン, 2008年5月7日.
- 9) 井上 誠, 秋元幸平, 別府 茂, 田辺英児, 山野井澄江: 食の支援ステーション開設. 歯学部ニュース 平成20年度第1号: 14-22 頁, 2008.
- 10) 井上 誠: 今日までそして明日から. 歯学部ニュース 平成20年度第1号: 38-39 頁, 2008.

歯科侵襲管理学分野

【論文】

- 1) Megumi Aita, Takeyasu Maeda, Kenji Seo, The effect of neonatal capsaicin treatment on the CGRP-immunoreaction in the trigeminal subnucleus caudalis of mice, Biomedical Research (2008) 29, 33-42.

- 2) Yasumitsu Kodama, Kenji Seo, Ray Tanaka, Takanori Arashiyama, Hisao Ajima, Ritsuo Takagi, Placement of mandibular nerve block using computed tomography to locate the foramen ovale in a patient with severe dislocation after segmental mandiblectomy, Br J Oral Maxillofac Surg (2008) In Press.
- 3) Kenji Seo, Yuji Inada, Makoto Terumitsu, Tatsuo Nakamura, Katsuhiko Horiuchi and Ikuhisa Inada, Genji Someya. One year outcome of a damaged lingual nerve repair using a PGA-Collagen tube : A Case Report, Journal of Oral and Maxillofac Surg. 66(7)(2008), 1478-1481.
- 4) 野村修一, 豊里 晃: ベッドサイドで行える嚥下機能評価法の開発 摂食・嚥下の咽頭期における食塊移送の測定, 日本歯科医師会雑誌. 61(1) : 19-25, 2008.

【外部資金調達】

- 1) 瀬尾憲司: 基盤研究 (B), 平成 20 ~ 22 年度, 課題番号 20390511, 研究代表者 瀬尾憲司, (8,300 千円) GABAA 受容体は本当に痛覚伝達を抑制させるか?
- 2) 弦巻立: 下歯槽神経における神経因性疼痛に関するセロトニン受容体の解明. 課題番号 20791502, 平成 20-22 年度日本学術振興会科学研究費補助金, 若手 (B) 2,340 千円.
- 3) 弦巻立: NPY 受容体は神経因性疼痛に関与するか?, 平成 20 年度新潟大学プロジェクト推進経費, 奨励研究, 359 千円.

【講演会】

- 1) 瀬尾憲司: 三叉神経における末梢神経障害へのアプローチ, 第 2 回日本学機能研究会特別講演会 (日本大学松戸歯学部), 2008 年 4 月 26 日, 東京.
- 2) 田中 裕: 新潟県歯科医師会主催学術講演会, 医療事故・院内感染対策, 2008 年 6 月 15 日, 新潟市.
- 3) 瀬尾憲司: 新潟県歯科医師会主催学術講演会, 救急救命処置, 2008 年 6 月 15 日, 新潟市.
- 4) 瀬尾憲司: 歯科医院で行われるべき, また行われなければならない緊急対処法の理解 (幅広い対応を求めて), 平成 20 年第 2 回佐久歯科医師会, 秋季学術講演会 (佐久市), 2008 年 9 月 6 日, 佐久市.
- 5) 瀬尾憲司: 新潟大学歯学部同窓会福島県支部学術講演会, 歯科医院の緊急対処 ガイドライン 2005 準拠, 平成 20 年 2 月 2 日, 郡山市

【学会発表】

- 1) Terumitsu M, Seo K, Matsuzawa H, Kwee IL, Nakada T.: Evaluation of Inferior Alveolar Nerve Disorders by 3.0T MR Neurography. IADR Abstr #2404, 2008 7.4 Toronto, 2008.
- 2) H. SEINO, H. AJIMA, G. SOMEYA, T. MAEDA, K. SEO, Behavioral and immuno-histological observations of trigeminal nerve ligation in mice, 38th Annual Meeting of the Society for Neuroscience, Washington DC, USA, 2008.11.15-19, <http://www.sfn.org/am>.
- 3) 田中 裕, 染矢源治, 藤村健夫, 清水夏恵, 齊藤 功, 真島一郎, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 村松芳幸, 下条文武, 村松公美子, 櫻井浩治: 顎顔面口腔領域の慢性疼痛疾患の病態に対する心理的因子の傾向についての検討, 第 49 回日本心身医学会総会, 2008 年 6 月 12-13 日, 札幌市, 心身医学, 48 (6) : 585, 2008.
- 4) 豊里 晃, 塚田博子, 倉田行伸, 清野宏幸, 弦巻 立, 田中 裕, 染矢源治: 上顎骨移動術中挿管チューブのカフパイロットチューブが穿孔した症例, 2008 年 6 月 28 日, 東京, 第 25 回関東臨床歯科麻醉懇話会 (日本歯科麻醉学会地方会), 抄録集, 9, 2008.
- 5) 清野宏幸, 前田健康, 瀬尾憲司, 染矢源治: マウスを用いた下顎神経の絞扼性損傷モデルにおける行動生理学的および免疫組織学的観察, 平成 20 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2008 年 7 月 19 日, 新潟歯学会雑誌, 38 (2) : 135, 2008.
- 6) 藤村健夫, 清野洋, 清水夏恵, 田中 裕, 村上修一, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 下条文武: 非 24 時間睡眠覚醒障害のために社会生活が困難となっている患者への対応～患者の考えと医師の行動のギャップについて～, 第 113 回日本心身医学会関東地方会, 2008 年 9 月 20 日, 東京, 第 113 回日本心身医学会関東地方会プログラム, 2008.
- 7) 塚田博子, 弦巻 立, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 倉田行伸, 染矢源治: 心房細動を有する患者の術中頰脈に対して塩酸ランジオロールが奏効したと思われた症例, 第 36 回日本歯科麻醉学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日,

- 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 436, 2008.
- 8) 照光 真, 瀬尾憲司, 松澤 等, 中田 力: 3.0Tesla 装置を用いた高解像度 3D Volume Rendering MR Neurography による下歯槽神経感覚障害の評価と治療 (1) その手法と異常所見, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 447, 2008.
 - 9) 瀬尾憲司, 照光 真, 松澤 等, 染矢源治: 3.0Tesla 装置を用いた高解像度 3D Volume Rendering MR Neurography による下歯槽神経感覚障害の評価と治療 (2) 発症の予測を行った症例, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 447, 2008.
 - 10) 倉田行伸, 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 塚田博子, 豊里 晃, 染矢源治: 術中に急激な体温・心拍上昇により悪性高熱症を疑った症例, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 459, 2008.
 - 11) 田中 裕, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 染矢源治: 顎顔面口腔領域に疼痛を訴える患者の心理的傾向の傾向, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 475, 2008.
 - 12) 清野宏幸, 瀬尾憲司, 染矢源治: マウス・オトガイ神経における絞扼性損傷が Substance P の分布へ及ぼす影響, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 506, 2008.
 - 13) 弦巻 立, 田中 裕, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 倉田行伸, 塚田博子, 染矢源治: 術後出血による上気道閉塞に対して, 緊急気管切開を行った 2 症例, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 515, 2008.
 - 14) 松井 宏, 高山裕司, 武藤祐一, 田中 裕: MRI 検査時の携帯型持続注入器を用いたプロポフォルによる麻酔管理経験, 第 36 回日本歯科麻酔学会総会, 2008 年 10 月 8-10 日, 吹田市, 日本歯科麻酔学会雑誌, 36 (4) : 523, 2008.
 - 15) 豊里 晃, 豊里 晃, 中野 久, 野村修一: ピエゾセンサーを用いた咽頭期嚥下の解析, 日本障害者歯科学会, 東京, 日本障害者歯科学会, 29 (3) : 254, 2008.
 - 16) 真島一郎, 山岸格史, 藤村健夫, 清水夏恵, 江部佑輔, 齊藤 功, 村上修一, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 長谷川隆志, 村松芳幸, 下条文武, 田中 裕, 新沢秀範: 換気応答における Near-fatal asthma 患者と Non-near-fatal asthma 患者の自律神経機能の相違について, 第 13 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2008 年 11 月 30 日 -12 月 1 日, 弘前市, 日本心療内科学会雑誌, 12, 抄録号: 58, 2008.
 - 17) 清野 洋, 吉嶺文俊, 丸山理佳, 村松芳幸, 藤村健夫, 村上修一, 田中 裕, 真島一郎, 村松公美子, 下条文武: 高齢の慢性呼吸不全症例における抑うつについて, 第 13 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2008 年 11 月 30 日 -12 月 1 日, 弘前市, 日本心療内科学会雑誌, 12, 抄録号: 58, 2008.
 - 18) 藤村健夫, 柿崎隆紀, 嶋田佳高, 林雅子, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 村上修一, 真島一郎, 片桐敦子, 村松公美子, 村松芳幸, 下条文武: 薬物療法が無効であった過敏性腸症候群に絶食療法を施行した一例, 第 13 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2008 年 11 月 30 日 -12 月 1 日, 弘前市, 日本心療内科学会雑誌, 12, 抄録号: 66, 2008.
 - 19) 田中 裕, 染矢源治, 藤村健夫, 清水夏恵, 齊藤 功, 真島一郎, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 村松芳幸, 下条文武, 村松公美子, 櫻井浩治: 歯科領域の慢性疼痛患者の病態と心理的因子の傾向についての検討, 第 13 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2008 年 11 月 30 日 -12 月 1 日, 弘前市, 日本心療内科学会雑誌, 12, 抄録号: 81, 2008.
 - 20) 金丸祥平, 新垣 晋, 小田陽平, 芳澤享子, 新美奏恵, 船山昭典, 三上俊彦, 齊藤 力: 粘表皮瘤に対する TPF 術前化学療法の効果, 第 27 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2009 年 1 月 29-30 日, 宇都宮市, 2008.

【研究会発表】

- 1) 塚田博子: 術中頰脈のコントロールに苦慮した心房細動を有する患者の麻酔経験, 第 62 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2008 年 5 月 8 日, 新潟市, 2008.
- 2) 金丸祥平, 新垣 晋, 小田陽平, 芳澤享子, 新美奏恵, 三上俊彦, 齊藤 力: 粘表皮瘤に対する TPF 療法の効果, 第 5 回北東北口腔がん勉強会・第 8 回新潟口腔癌化学療法研究会合同研究会, 2008 年 5 月 15 日, 新潟市, 2008.
- 3) 豊里 晃, 塚田博子, 倉田行伸, 弦巻立, 田中 裕, 染矢 源: 挿管チューブ・カフにトラブルをきたした 2 症例, 第 67 回新潟麻酔懇話会, 2008 年 6 月 14 日, 新潟市, 2008.
- 4) 藤村健夫, 柿崎隆紀, 嶋田佳高, 林 雅子, 清野 洋, 清水夏恵, 田中 裕, 村上修一, 真島一郎, 片桐敦子,

村松公美子, 村松芳幸, 下条文武: 薬物療法が無効であった過敏性腸症候群に対して絶食療法を施行した一例, 第9回こころのケア研究会新潟支部会, 2008年10月3日, 新潟市, 2008.

- 5) 田中 裕: 周術期管理に苦慮した解離性同一性障害患者2例の歯科管理経験, 第63回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2008年11月13日, 新潟市, 2008.
- 6) 清野宏幸, 前田健康, 瀬尾憲司, 染矢源治: マウスを用いた下顎神経の絞扼性損傷モデルにおける行動生理学的および免疫組織学的観察, 第68回新潟麻酔懇話会, 第47回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会, 2008年11月29日, 新潟市, 2008.

【その他】

- 1) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 清野宏幸: 新潟県歯科医師会主催救急講習会, 2008年7月27日, 新潟市.
- 2) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 清野宏幸: 医療法人徳真会主催救急講習会, 2008年8月31日, 新潟市.
- 3) 染矢源治, 瀬尾憲司, 豊里 晃, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 塚田博子, 清野宏幸: 新潟県歯科医師会主催救急講習会, 2008年9月21日, 新潟市.
- 4) 清野宏幸: 第IV期デンツブライ賞 基礎部門ポスター 学会賞受賞 (演題: 清野宏幸, 瀬尾憲司, 清野宏幸, マウスにおける下顎神経絞扼性損傷後の触覚閾値変化に関する研究), 第36回日本歯科麻酔学会総会, 2008年10月8-10日, 吹田市.
- 5) 倉田行伸: 平成20年度中久喜学術賞 受賞 (演題: 倉田行伸, 豊里 晃, 瀬尾憲司, 染矢源治: プロポフォル静脈内鎮静法における嚥下反射の抑制に関する研究—呼吸・循環動態との関係を含めて—), 第36回日本歯科麻酔学会総会, 2008年10月8-10日, 吹田市.
- 6) 瀬尾憲司, 他: 新潟大学医歯学総合病院 ICLS インストラクター, 2008年4月5日, 新潟市.
- 7) 瀬尾憲司, 他: 新潟大学医歯学総合病院 ICLS インストラクター, 2008年4月12日, 新潟市.
- 8) 瀬尾憲司, 他: AHA BLS プロバイダーコースインストラクター, 2008年4月19日, 新発田市.
- 9) 瀬尾憲司, 他: AHA BLS プロバイダーコースインストラクター, 2008年6月22日, 新潟市.
- 10) 瀬尾憲司, 他: AHA BLS プロバイダーコースインストラクター, 2008年10月25日, 新潟市.
- 11) 弦巻 立: AHA BLS プロバイダー取得, 2008年10月25日, 新潟市.
- 12) 瀬尾憲司: AHA BLS コアインストラクター資格取得, 2008年12月20日, 福島市.

口腔生命福祉学科

【論文】

- 1) Corbet E, Akinwade J, Duggal R, Gebreegziabher G, Hirvikangas H, Hysi D, Katrova L, Karaharju-Suvanto T, McGrath C, Ono K, Radnai M, Schwarz E, Scott J, Sixou J-L, Soboleva U, Uoshima K, Yaneva-Ribagina K, Fox C: Staff recruitment, development and global mobility. *European Journal of Dental Education* 12 (Supplement 1): 149-160, 2008.
- 2) Al-Gunaid T, Asahito T, Yamaki M, Hanada K, Takagi R, Ono K, Saito I: Relapse tendency in maxillary arch width in unilateral cleft lip and palate patients with different maxillary arch forms. *Cleft Palate-Craniofac J* 45(3): 278-283, 2008.
- 3) Sawair FA, Cheng J, Yamazaki M, Al-Eryani K, Khraisat A, Ono Y, Kito K, Ono K, Takagi R, Saku T: Epithelioid hemangioendothelioma of the tongue: a report of solitary and multiple lesions in two young children. *Oral Med Pathol* 13: 15-20, 2008.
- 4) Komatsu Y, Galicia JC, Kobayashi T, Yamazaki K, Yoshie H. Association of interleukin-1 receptor antagonist +2018 gene polymorphism with Japanese chronic periodontitis patients using a novel genotyping method. *Int J Immunogenet* 35(2): 165-70, 2008.
- 5) Honda T, Aoki Y, Takahashi N, Maekawa T, Nakajima T, Ito H, Tabeta K, Okui T, Kajita K, Domon H, Yamazaki K. Elevated expression of IL-17 and IL-12 genes in chronic inflammatory periodontal disease. *Clin Chim Acta*. 395(1-2): 137-141, 2008.
- 6) Domon H, Takahashi N, Honda T, Nakajima T, Tabeta K, Abiko Y, Yamazaki K. Up-regulation of the